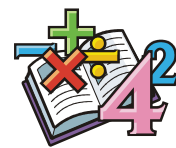


## 有休取得率、2017年は51.1%で20年ぶりの水準

厚生労働省が発表した就労条件総合調査によると、民間で働く人の2017年の年次有給休暇取得率(1人当たり平均)は、前年比1.7ポイント上昇の51.1%と3年連続で増加したことがわかりました。1998年(51.8%)以来、20年ぶりの高水準となりましたが、日本の取得率は諸外国に比べてなお低く、政府が2020年の目標とする70%にはほど遠い状況です。(取得率は、労働者が与えられた有休日数に対する実際の取得割合)。2017年の平均取得日数は0.3日増の9.3日でした。業種別の取得率を見ると、最低は宿泊・飲食サービス業の32.5%、卸売・小売業、生活関連サービス・娯楽業、建設業も30%台半ばから後半と低く、いずれも最も高かった電気・ガス・熱供給・水道業(72.9%)の約半分にとどまりました。

【出典】厚生労働省「平成30年就労条件総合調査」平成30年10月23日



## 外国語学習市場 2017年度2%増 堅調な伸び

矢野経済研究所の発表によると、2017年度の語学ビジネス市場(事業者売上高ベース)規模は8666億円と、前年度に比べ2%増加したことがわかりました。分野別ではeラーニングが安価なサービスの増加などを背景に約2割増、幼児・子ども向け教室も引き続き好調であり、外国語学習に関するビジネス市場が堅調に伸びているようです。eラーニング市場は22.2%増の110億円になり、一般的な英会話教室よりも安い価格で受講でき、需要が拡大しています。矢野経済研究所は、語学ビジネス市場は今後も順調に伸びると予測し、2018年度の市場規模は2017年度比2.4%増の8873億円と推定しています。

【出典】株式会社矢野経済研究所「語学ビジネス市場に関する調査を実施(2018年)」平成30年11月2日

## カーシェアサービス、若者前向き 20代以下の53%は体験済み

パーク24がまとめた移動に関するシェアリングサービスの調査によると、実際の利用者数は調査数全体の4割弱にとどまるなかで若年層の方が利用に前向きなことがわかりました。若年層は車を保有していない場合が多く、代替手段として利用しているようです。20代以下では過半数が経験していましたが、30代になると45%に低下。40代は36%、50代では33%、60代以上では31%止まりとなりました。また、利用経験があると回答した人のうち15%は、複数のサービスを活用していました。そして、自動車以外のシェアリングはまだ一般的ではないようで、利用したことのあるサービスは企業から借りるカーシェアが81%と最も多い結果となり、2位となった自転車を借りるサイクルシェア(15%)を大きく引き離しました。続く3位は駐車場を借りるサービス(12%)が続きました。

【出典】パーク24株式会社「20代以下の半数以上はシェアリングサービスの利用経験あり 使ったことがあるサービスは『カーシェア(BtoC)』が最多」平成30年11月9日

## 長期失業者、50万人割る 経験問わない求人が増加

総務省がまとめた7~9月期の労働力調査(詳細集計)によると、失業期間が1年を超す長期失業者は4~6月期に比べて3万人減ったことがわかりました。また長期失業者が完全失業者全体(169万人)に占める割合は28.9%となり、前年同期に比べて8.3ポイント下がりました。人手不足で経験を問わない求人が増えたことが主因であり、ピークの2010年7~9月期の4割弱まで減少しました。一方で、失業期間が1年未満の短期失業者数は増えています。売り手市場をにらみ、賃金などがより良い条件の仕事を探す転職者が増えたためです。

【出典】総務省「労働力調査(詳細集計)平成30年(2018年)7~9月期平均(速報)」平成30年11月6日